

# 申請書等記載例

様式第1号（第6条関係）

阿波市長 様

令和8年 4月〇〇日

提出日を記入してください。  
※受付期間内の日付になります。  
令和8年4月1日～令和8年4月30日

- ・正式名称を記載すること。
- ・所在地・団体名が規約（会則）と一致しているか確認してください。

所在地（〒771-1695）

阿波市市場町切幡字古田201番地1

団体名 □□□□□□

代表者氏名 ○○ ○○

（事務局：○○ ○○ 0883-36-1670）

電話番号 0883-36-8700

## 阿波市元気なまちづくり活動支援事業補助金交付申請書

令和8年度において、元気なまちづくり活動支援事業補助金の交付を受けたいので、阿波市元気なまちづくり活動支援事業補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請いたします。

記

1 事業名 地域コミュニティの醸成事業

募集要領の補助対象事業の中から選んで記入して下さい。

- ・公園等美化活動事業
- ・地域コミュニティの醸成事業
- ・まちづくりスタート支援事業
- ・まちづくりステップアップ支援事業
- ・協働のまちづくり活動支援事業

2 事業の目的 地域の少子高齢化がすすみ、住民同士の関係が希薄になりつつあったことから、地域の課題解決及び活性化のため、会員相互に話し合い、協力しながら、持続可能なまちづくりを目指すことを目的として設立しました。

規約（会則）に記載の目的をふまえて、簡潔に記載してください。

3 交付申請額 金 50,000円

### 4 添付書類

- (1) まちづくり団体事業計画書（様式第2号）
- (2) まちづくり団体収支予算書（様式第3号）
- (3) まちづくり団体構成員名簿（様式第4号）
- (4) まちづくり団体規約、会則等
- (5) 活動の対象地域を示す図面
- (6) その他市長が必要と認める書類

様式第2号（第6条関係）

まちづくり団体事業計画書

1. 団体・事業概要

団体の設立年月日	元号〇〇年 〇〇月 〇〇日	規約に記載のある場合は、一致していることを確認してください。
団体の構成員数	10人（うち阿波市民 8人）	団体構成員名簿の人数と一致します。
活動の拠点	阿波市市場町切幡地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年度間の予算総額を記入してください。</li> <li>・団体収支予算書の「収入合計」及び「支出合計」と同額になります。</li> </ul>
総事業費	100,260円	
事業実施期間	令和8年 4月 1日 ~ 令和9年 3月 31日	
事業内容	<p>規約に基づく次の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 世代間交流イベントの実施</li> <li>2 地域の環境保全活動</li> <li>3 その他目的達成に必要な事業</li> </ol>	規約（会則）に記載の活動内容をふまえて、簡潔に記載してください。

2. 事業実施スケジュール

年 月	実 施 内 容
令和8年4月	総会
令和8年4月 ～令和9年3月	環境保全活動 ・世代間交流イベント会場の花壇植え替え、除草作業
令和8年5月 ～令和8年12月	世代間交流イベントに向けた準備・役員会
令和8年8月	世代間交流イベント（夏） ・親子郷土料理教室 ・昔話の読み聞かせ会
令和8年12月	まちづくり団体研修会参加
令和8年12月	世代間交流イベント（冬） ・親子伝統行事講習会
令和9年3月	役員会

- ・実施予定事業の時期、内容を簡潔に記載してください。
- ・総会資料や規約（会則）に記載の活動内容に沿う内容であるか確認してください。

補助対象期間内であること。

参考：補助見込み額（上限額）の考え方 <記載例団体の場合>  
 ・【総事業費】100,260円－【対象外経費】5,000円＝【補助対象経費】95,260円  
 ・【補助対象経費】95,260円×【補助率】4/5＝76,208円※  
 ※地域コミュニティの醸成事業補助限度額に基づき補助見込み額（上限額）は50,000円

様式第3号（第6条関係）

まちづくり団体収支予算書

※最上段に記載※  
 補助金見込み額は、一番上に記載してください。

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	備考(積算根拠)
阿波市元気なまちづくり活動支援事業補助金(見込み)	50,000	
会費	15,000	1,500円×10人
イベント参加費	10,000	親子郷土料理教室参加料 500円×20人
活動賛助金	25,000	〇〇より賛助金
前年度繰越金	260	
計	100,260	

※必須事項※  
 補助金見込み額は、募集要領を確認して記入してください。

・前年度からの繰越金がある場合、収入の部に記載すること。  
 ・前年度決算書類と合致すること。

事業計画書の「総事業費」及び収支予算書の「支出の部」合計額と一致します。

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	備考(積算根拠)
消耗品費	30,260	事務用品、花苗・花壇の土等
原材料費	12,000	イベント材料費
印刷製本費	38,000	イベント用チラシ印刷代
食糧費	5,000	イベント時会員弁当代 500円×10人 対象外経費
通信運搬費	5,000	切手代、送料等
保険料	5,000	イベント保険料
使用料及び賃借料	5,000	親子郷土料理教室会場使用料
次年度繰越金	0	
計	100,260	

対象外経費は、備考欄に記入してください。

事業計画書の「総事業費」及び収支予算書の「収入の部」合計額と一致します。

収入合計	100,260	円
支出合計	100,260	円
差引金額	0	円

差引金額は必ず0円になります。  
 【収入合計】－【支出合計】＝【差引金額】

